

展望台から

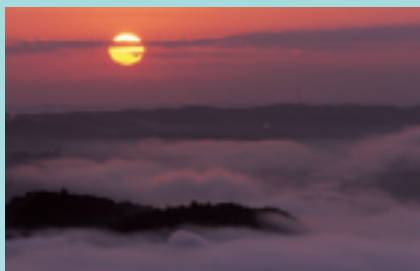
市内には、いつもの展望台がありますが、中でも山方地域にある休場展望台と御前山地域にある三王山展望台では、秋の深まりとともに霧の発生が多く、雲海がしばしば見られます。

雲海が発生する時期は、春または秋(冬を除く10月～2月)に現れやすく、なるべく無風状態で湿度が高く、十分な放射冷却がある時が見られやすいと言われます。また、発生するのは夜明け前から早朝まで。あつという間に消えてしまいます。

展望台から見る雲海は、近隣の山々が大海の小島になるような雄大で幻想的な風景が広がります。



▲休場展望台 (撮影: 大森清文さん)



▲山王山展望台 (撮影: 青木猛さん)

常陸大宮市の人口 (11月1日現在・推計常住者)

総人口46,813人 (男22,859人・女23,954人)
世帯数16,269世帯

広報 常陸大宮 12月 第39号

発行日 平成19年12月17日

編集・発行
常陸大宮市総務部情報政策課

〒319-2292

茨城県常陸大宮市中富町3135-6

☎ 0295(52)1111 ☎ 0295(53)6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

□広報常陸大宮は、ホームページでも
ご覧になれます。

プレ国民文化祭



11月18日、プレ国民文化祭・茨城県芸術祭吟詠剣詩舞道大会が常陸大宮市文化センター(ロゼホール)にて開催されました。

県内の吟詠剣詩舞愛好者の方々、総勢約1,000人が合吟コンクールや大合吟、企画構成吟「蒙古の砂塵」に出演しました。

大会のオープニングでは、大場小学校児童全員による合吟「弘道館に梅花を賞す」の発表があり、2ヶ月という短い練習期間でしたが、立派に舞台上に立ち合吟を披露しました。来年の国民文化祭・全国吟詠剣詩舞道祭では合吟に合わせて、扇子を使って舞う「詩舞」も披露します。これからたくさんの練習を重ねていきますので、さらにすばらしい吟舞を披露できることでしょう。

また企画構成吟「蒙古の砂塵」は、2度にわたる蒙古襲来や、元と宋の攻防が迫力のある吟舞により表現されており、吟詠剣詩舞の奥深さを感じ取ることが出来ました。

大会は万歳三唱にて幕を閉じ、出演者の方々は満足げな表情で文化センターを後にしました。

今大会の成功を来年の国民文化祭へ繋いで行きたいと思います。



国民文化祭・いばらき2008



「全国吟詠剣詩舞道祭」

平成20年11月2日

会場 常陸大宮市文化センター

「西塩子の回り舞台(グリーンふるさと文化フェスティバル)」

平成20年11月8日・9日

会場 大宮公民館塩田分館グランド

「いばらき さとやま生活」ロゴマーク決定!!

県北地域の豊かな自然や様々な体験交流を楽しむライフスタイル「いばらき さとやま生活」のロゴマークが決定しました。

今後、このロゴマークを活用し、官民が連携・協働して地域の魅力を発信していきます。



〈問い合わせ先〉

"いばらき さとやま生活"推進会議 ☎029-301-2725

ホームページ

http://www.satoyama-life.pref.ibaraki.jp/

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています